



学校評価の目的

学校評価の目的(文部科学省)

- ① 各学校が、自らの教育活動その他の学校運営について、目指すべき目標を設定し、その達成状況や達成に向けた取り組みの適切さ等について評価することにより、学校として組織的・継続的な改善を図ること。
- ② 各学校が、自己評価及び保護者など学校関係者等による評価の実施とその結果の公表・説明により、適切に説明責任を果たすとともに、保護者、地域住民等から理解と参画を得て、学校・家庭・地域の連携協力による学校づくりを進めること。
- ③ 各学校の設置者等が、学校評価の結果に応じて、学校に対する支援や条件整備等の改善措置を講じることにより、一定水準の教育の質を保証し、その向上を図ること。

長洲小学校では、学校評価を通じて
学校教育の改善と、児童・保護者・地域の
ニーズに応える学校づくりを目指します。

学校評価委員一覧

校長・教頭

学校評議員

PTA代表



尼崎市立長洲小学校

〒660-0801

住所：尼崎市長洲東通
3丁目7番1号

電話：(06)6488-0490

Fax：(06)6488-0491

尼崎市立長洲小学校 平成26年度 学校評価報告書



教育目標

な…なかよくたすけあう子
が…がんばりきたえあう子
す…すすんで考える子

本年度の努力事項

1. 個性の尊重と基礎基本の定着
確かな学力の育成
 - ・言語活動、読書活動の充実
 - ・特別支援教育の推進
 - ・家庭での学習習慣づくり
2. 豊かな心と健やかな体の育成
 - ・道徳教育の充実
 - ・基本的な生活習慣の確立
 - ・健康の増進と体力の向上
3. 家庭、地域、関係機関との連携
 - ・地域と連携した安全・安心な教育環境づくり
 - ・保護者や地域に信頼され、活力に満ちた学校づくり



本校の学校経営理念 「心豊かに学びあう子の育成」

長洲小学校では「心豊かに学びあう子の育成」を理念として掲げ、「な(なかよくたすけあう子), が(がんばりきたえあう子), す(すすんで考える子)」を育てるために、平成26年度は以下の4つの柱をたてて教育活動をすすめてきました。

な…なかよくたすけあう子(徳)

- ・**道徳教育の充実**: あいさつ運動, もくもく掃除, 生活目標への取り組み, 道徳の授業の充実
- ・**コミュニケーション能力の向上**: あいさつ運動, 特別活動での異年齢交流

が…がんばりきたえあう子(体)

- ・**健康の増進と体力の向上**
基本的な生活習慣の確立

す…すすんで考える子(知)

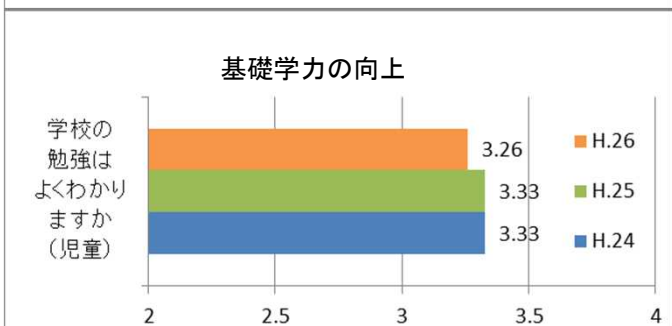
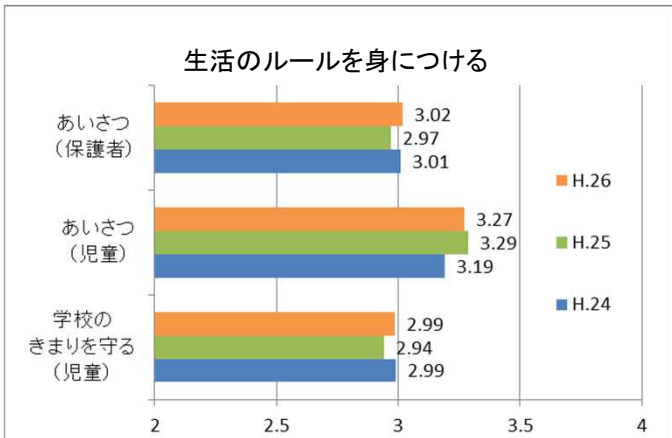
- ・**言語活動・読書活動の充実**
- ・**学習習慣の定着**: のびっこタイム, 学力補充の日, 家庭での自主的な学習習慣づくり

開かれた学校

- ・**安心して通わせることのできる学校づくり**: 学校だより, ホームページ, 携帯メール配信, 参観日・行事

本年度の取り組み評価

～学校評価アンケートの結果～



①道徳教育の充実 【評価 3.0】

本年度も、思いやりやコミュニケーション能力を育むことを目標に道徳教育に取り組んできました。いじめが起こらないように、複数の教職員の目で児童を観察したり、児童と一緒に過ごす時間を増やすことで、一人一人の児童理解を深めるように取り組みました。困っている友達にどうしてあげるのがよいか、思いやりのある言葉とはどんな言葉なのか。道徳や特別活動の授業はもちろん、いろいろな学校生活の場面をとらえて指導しています。児童の評価は昨年度より低いです。保護者の評価は上がっています。時々乱暴な言葉使いをする児童もいますが、スマイルボックスにたくさんの投書が寄せられるなど、思いやりの心はゆっくりと育ってきているようです。

②生活のルール、規範意識を身につける 【評価 3.0】

学校生活(集団生活)に必要なルール等のスキルの向上を目指して、「あいさつ運動」、学習用品、名札等の「忘れ物チェック」、遅刻をしないなど「時間を守ること」また、校内・校外での遊びの「きまりを守ること」などに全校で取り組んできました。しかし あいさつについては、一定の成果が見られるようになってきているものの、遅刻して登校する児童、教室や廊下で大声を出して走り回る子、悪いことをして注意されても素直に聞けない児童も少なくありません。「きまりを守る」「物事の善悪がわかる」「素直に謝る」等の指導を保護者と連携を取りながら今後も継続していきたいと考えます。

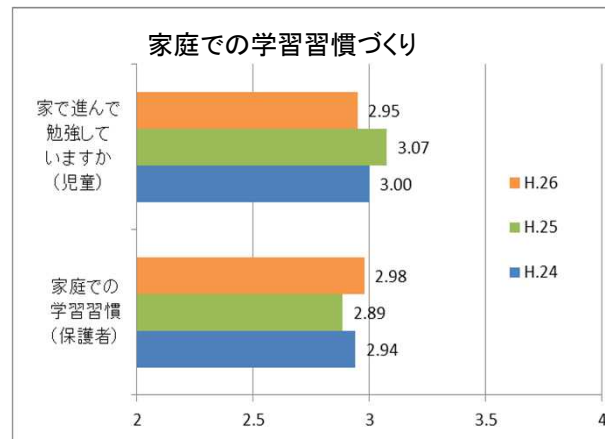
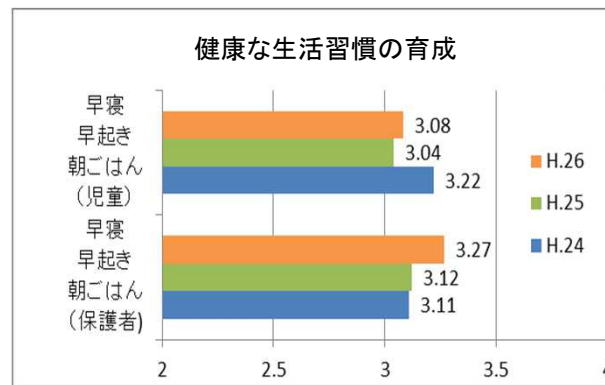
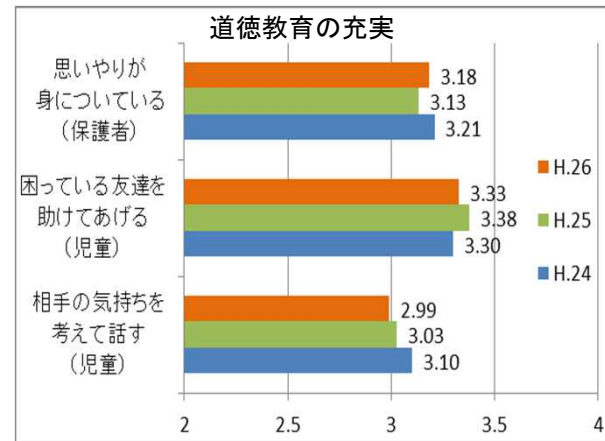
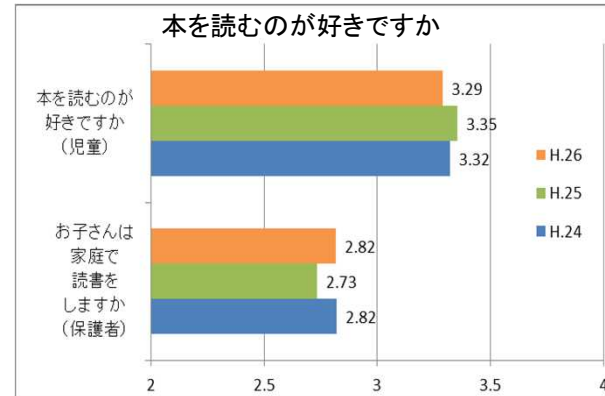
③体力の向上 【評価 3.5】

昨年度の体力テストにより、「走力」「巧みな動き」「柔軟性」に課題があることがわかりました。アンケートの結果、体を動かして遊ぶことが好きと回答した児童は全体の88%に上り普段から運動に親しんでいることがわかります。今年度は準備運動を徹底させ、柔軟性、巧みな動きにつながる指導を行ってきました。授業以外でもジョギングや長縄タイムを取り入れ、友達と競ったり協力させながら楽しんで体力の向上を図っています。朝会の終わりに集団行動の指導を取り入れ、上手に行進できるようになってきています。

④健康な生活習慣の育成 【評価 3.0】

昨年と比べると「早寝・早起き・朝ご飯」の習慣が大きく改善されていることが、アンケートからもよくわかります。家庭で児童への声かけや朝食の準備をしていただいていることが、好結果につながったものと考えられます。しかし、高学年を中心に、夜遅くまで起きていて学校を遅刻してきたり、体調を崩して保健室で休んだりする児童もいます。朝ご飯を食べて登校する児童が増えているのはよいことですが、朝ご飯の内容が大切です。また、学校給食の様子から感じられることは、時間内に食べることができない、好き嫌いが多いことなども気になっているところです。家庭でのルールの見直しや朝ご飯をしっかり食べるなど、一層の啓発に取り組んでいきます。

各取り組みの成果と評価



⑤家庭での学習習慣づくり 【評価 3.0】

今年度も、全学年で宿題を出すように計画し、実施しました。保護者アンケートでは家庭での学習習慣はついてきたと判断される方が増えています。児童の評価が良くないのは、「自分から進んでやる」という点や宿題以外の学習はできていないから等の判断をしているように感じられます。全国や県の平均よりも本校は家庭学習の時間がかなり少ないことから、宿題だけでなく、予習や復習、自主学習にも力をいれていきたいと思えます。

⑥基礎学力の向上 【評価 3.5】

のびっこタイム、学力補充の日、放課後学習(3・4年)を実施し、わかる授業、楽しい授業を目指し、複数の先生がクラスに入って、授業をしたり、教科で担任を交代したりしました。朝の読書タイムから、静かに一日が始まり、下校時まで全学級で落ち着いて授業が行われるようになってきました。

⑦言語活動・読書活動の充実 【評価 4.0】

今年も言語活動・読書活動に力を入れてきました。特に週末のうち読、国語と関連した読書指導計画の作成・実施を行ってきました。子どもたちの読書量は少しずつ増え、親子で本を読む機会が増えたなど、子どもたちの家庭での読書の習慣化が図られているようです。

⑧安心して通わせることのできる学校づくり【評価 3.5】

学校通信やホームページに加え、保護者へのメール配信等で情報発信してきました。今年度はホームページの更新回数を増やし、学校行事を中心に児童の様子や学校の取り組みを速やかにお伝えすることができました。アンケートの結果、多くの保護者の方が、子どもは楽しく学校に通っており、安心して学校に通わせることができると答えてくださいました。耐震工事は平成27年度7月から着工の予定です。

評価基準

～以下の基準で各取り組みを評価しました～

- 5 実施の効果が十分満足でき、取り組みも満足できる
- 4 実施の効果は概ね満足でき、取り組みも満足できる
- 3 実施の効果はある程度認められるものの、取り組みに改善の必要性がある
- 2 実施の効果が不十分であり、取り組みにも改善の必要がある
- 1 実施の効果も取り組みも不十分である

総合評価とまとめ 【総合評価 3.5】

地域、見守り隊、PTAの方々による登下校の見守りや教職員の下校指導もあり、大きなけがもなく子どもたちが学校に通うことができました。この一年間、保護者や地域の皆様からいただきましたご支援とご協力に心よりお礼申し上げます。

今年度は、「規範意識の向上」「健康な生活習慣づくり」「家庭での学習習慣づくり」「体力の向上」を中心に取り組んで参りました。「家庭学習の取り組み」や「言語活動や読書活動の充実」「体力づくり」には一定の成果が見られました。来年度は、「規範意識の向上」「健康な生活習慣づくり」を保護者との連携を強化し、重点的に取り組みたいと考えています。

このたび「学校評価アンケート」でいただいた貴重なご意見は、今後の学校経営の参考にさせていただきます。来年度も教職員一丸となって長洲小学校の教育に取り組んで参ります。